さいたま市感染症発生動向調査(週報)

平成 29 年第 33 週(8 月 14 日~8 月 20 日)

※今週は夏季休暇の影響を受け、定点報告医療機関数の減少(インフルエンザ 41→32、小児科 27→19)のため、定点把握対象疾患の動向は参考値となります。

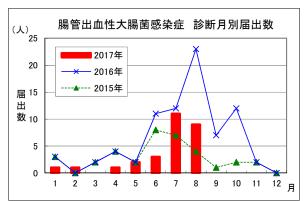
★腸管出血性大腸菌感染症にご注意を!

■全数把握対象疾患(結核を除く)

三類感染症の**腸管出血性大腸菌感染症** 3 人(病型:患者 3 人、血清型:O157 3 人)の報告がありました。**腸管出血性大腸菌感染症**の今年の累計は 28 人となりました。詳細は、市感染症情報センターHP「腸管出血性大腸菌感染症(O157 など)」をご覧ください。

五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 感染症 2 人(菌種: Enterobacter aerogenes 1 人、

Enterobacter cloacae 1 人)、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人の報告がありました。



★手足口病が流行警報レベルとなっています!

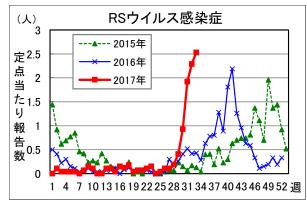
■定点把握対象疾患

手足口病の定点当たり報告数は、先週の 9.24 人(参考値)から 11.42 人(報告数 217 人)となりました。流行警報開始基準値(定点当たり 5 人)を超えていて注意が必要です。

RS ウイルス感染症の報告が増加しました。RS ウイルス感染症は 2006 年以降最も報告の多い状況が続いています。感染予防のため、手洗いや咳エチケットの徹底をお願いします。

咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の報告が多い状況です。

無菌性髄膜炎の報告が2人(40-44歳1人、70歳以上1人)ありました。





■定点当たり報告数表(第33週 8月22日 13:00集計)

	<u> </u>		7.00 A H I
疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	0.00	1	*
RSウイルス感染症	2.53	1	***
咽頭結膜熱(プール熱)	0.84	1	***
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.79	→	*
感染性胃腸炎	3.47	+	*
水痘(みずぼうそう)	0.42	→	*
手足口病	11.42	1	**
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.11	→	*
突発性発しん	0.74	1	*
百日咳	0.00	→	*

疾患名	定点当たり	推移	流行状況				
ヘルパンギーナ	1.95	\rightarrow	*				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.32	1	*				
急性出血性結膜炎	0.00	1	*				
流行性角結膜炎(はやり目)	0.88	1	**				
細菌性髄膜炎	0.00	·					
無菌性髄膜炎	2.00						
マイコプラズマ肺炎	0.00	報告	数が少ない				
クラミジア肺炎	0.00	ため表示せず					
インフルエンザによる入院患者	0.00						
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00						

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい \leftarrow *、**、*** 大きい)

感染症発生動向調査 週情報 (患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級)

(2017年第33週 平成29年8月14日~8月20日)

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-1	4 15-	19 2	20-29 3	30-39	40-49	50-59	9 60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	_
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-1	4 15-	19 2	20歳-						
RSウイルス感染症	48	2.53	4	14	25	3	2	-	-	-	-	-	-	-		-	_						
咽頭結膜熱	16	0.84	1	2	1	3	3	5	1	-	-	-	-	-	•	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.79	-	-	1	-	1	2	3	3	1	1	1	1		1	_						
感染性胃腸炎	66	3.47	1	7	11	6	6	8	7	3	3	1	3	6	i	-	4						
水痘	8	0.42	_	-	1	1	-	1	2	-	1	1	-	1		_	_						
手足口病	217	11.42	4	23	69	45	23	19	7	10	6	3	1	-		-	7						
伝染性紅斑	2	0.11	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	•	-							
突発性発しん	14	0.74	-	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	•	-							
百日咳	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-						
ヘルパンギーナ	37	1.95	-	11	7	8	5	2	-	1	-	3	-	-	•	-							
流行性耳下腺炎	6	0.32	_	-	-	-	1	2	-	1	2	-	-	_	•	-	-						-
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-1	4 15-	19 2	20-29 3	30-39	40-49	50-59	9 60-69	70-	_
急性出血性結膜炎	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	•	-	-	-	-	-	-	-	_
流行性角結膜炎	7	0.88	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	_	-	_	-	2	3	1		-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-5	4 55-	59 6	60-64	65–69	70-	_			
細菌性髄膜炎 #2	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	•	-	-	-	-	_			
無菌性髄膜炎	2	2.00	-	-	_	-	-	-	-	-	-	1	_	-		-	-	_	1				
マイコプラズマ肺炎	_	-	_	_	_	_	-	-	-	-	-	-	-	_	-	_	_	_	_	=			
クラミジア肺炎 #3			_	-	_	_	-	_	_	_	-	_	_	_		_	_	_	_	_			
インフルエンザによる入院患者	_	·	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_		_	_	_	_				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	_		_	_	_	_	-	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_			

(- : 0)

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況・・・ : 警報レベル、

:注意報レベル

8月 22日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2017年)

	土双几	ルモノリ	外 次	心阳	<u> 田釵(201/年)</u>							
類型	疾患名	2017年 第33週 受理分	2017年 累計 <mark>※</mark> 1	2016年 累計 ※1,2	疾患名	2017年 第33週 受理分	2017年 累計 ※1	2016年 累計 ※1,2				
	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0				
_	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0				
類	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0				
	南米出血熱	0	0	0								
	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0				
=	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0				
二 類	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0				
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0								
	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	1	0				
三 類	細菌性赤痢	0	0	6	パラチフス	0	0	0				
規	腸管出血性大腸菌感染症	3	28	43								
	E型肝炎	0	0	7	東部ウマ脳炎	0	0	0				
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0				
	A型肝炎	0	3	1	ニパウイルス感染症	0	0	0				
	エキノコックス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0				
		0	0	0	日本脳炎	0	0	0				
	 オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0				
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0				
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0				
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0				
四	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0				
	工 狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0				
類	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0				
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0				
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	0				
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兎病	0	0	0				
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0				
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0				
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0				
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0				
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	5	13				
	つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0				
	デング熱	0	2	7	ロッキー山紅斑熱	0	0	0				
	アメーバ赤痢	0	12	16	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	26				
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	3	4	水痘(入院例に限る)	0	4	0				
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	5	10	先天性風しん症候群	0	0	0				
	急性脳炎	0	14	12	梅毒	0	40	65				
-	クリプトスポリジウム症	0	0	0	播種性クリプトコックス症	0	0	2				
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	破傷風	0	0	2				
枳	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	6	7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0				
	後天性免疫不全症候群	0	7	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0				
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0				
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	6	3	麻しん	0	1	0				
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	2	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0				
	規定されている疾患は、現在の ところありません。											
- ノザ心未延	とこつめりません。 該当する疾患は、現在のところ	$\overline{}$			1							

指定感染症 該当する疾患は、現在のところ ありません。 ※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2016年累計は速報値となっています。

※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。